

平成29年度 第4回 木曾川水系流域委員会 【長良川遊水地】

平成29年8月22日

国土交通省 中部地方整備局

木曾川上流河川事務所、木曾川下流河川事務所

1. 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

(2) 河川の総合的な保全と利用に関する基本方針

ア. 災害の発生防止または軽減

長良川においては、洪水調節のために関係機関と調整しながら既存施設の有効活用を図るとともに、**流域内の遊水機能を活かした洪水調節施設等によって河道への負担を低減させる。**また、堤防の拡築、河道掘削により河積の増大を図るとともに、護岸等の整備により計画規模の洪水を安全に流下させる。

2. 河川の整備の基本となるべき事項

(1) 基本高水並びにその河道及び洪水調節施設への配分に関する事項

イ. 長良川

基本高水は、昭和36年9月、昭和51年9月、平成12年9月、平成16年10月洪水等の既往洪水について検討した結果、そのピーク流量を基準地点忠節において8,900m³/sとし、流域内の洪水調節施設により600m³/sを調節して、河道への配分流量を8,300m³/sとする。

河川名	基準地点	基本高水のピーク流量 (m ³ /s)	洪水調節施設による調節流量(m ³ /s)	河道への配分流量 (m ³ /s)
長良川	忠節	8,900	600	8,300

※社会資本整備審議会河川分科会 河川整備基本方針検討小委員会 資料において下記のとおり説明。
 確率規模；1/100 洪水調節：阿多岐ダム（S62年度完成）・内ヶ谷ダム（H35年度完成予定）200m³/s

遊水地機能を活かした洪水調節 400m³/s

※基本高水のピーク流量8,900m³/sはH12.9降雨の1/100引き伸ばしにより算出。

第1章 流域及び河川の現状と課題

第2節 河川整備の現状と課題

第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する現状と課題

岐阜県が内ヶ谷ダムを建設中であり、将来的には一定の洪水調節が期待できるものの、東海環状自動車道の整備等に伴う地域開発が進むなか、本来、指定区間の霞堤部等において有していた遊水機能による洪水調節機能を将来的にも確保するための早急かつ計画的な対処が必要である。

第3章 河川の整備の実施に関する事項

第1節 河川工事の目的、種類及び施行の場所並びに当該河川工事の施行により設置される河川管理施設の機能の概要

第1項 洪水、高潮等による災害の発生の防止又は軽減に関する事項

- 1 水位低下
 - (3) 洪水調節機能の強化
 - ② 遊水地等の整備

長良川において、戦後最大規模の洪水〔平成16年（2004）10月洪水〕を安全に流下させるため、板取川合流点から下流の区間において遊水機能を活かした洪水調節として基準地点忠節において戦後最大規模の洪水に対して約200m³/sの流量低減を見込む遊水地等を整備する。

なお、整備にあたっては、当該地域の開発状況と遊水地計画を総合的に検討し、地域の振興に資するような開発プロジェクトと協調を図るなど岐阜県をはじめとする関係機関と十分な調整・連携を図るとともに、既往の洪水に対する当該地域の浸水対策を併せて検討する。

遊水地等の位置・諸元等の詳細については今後検討し決定していく。

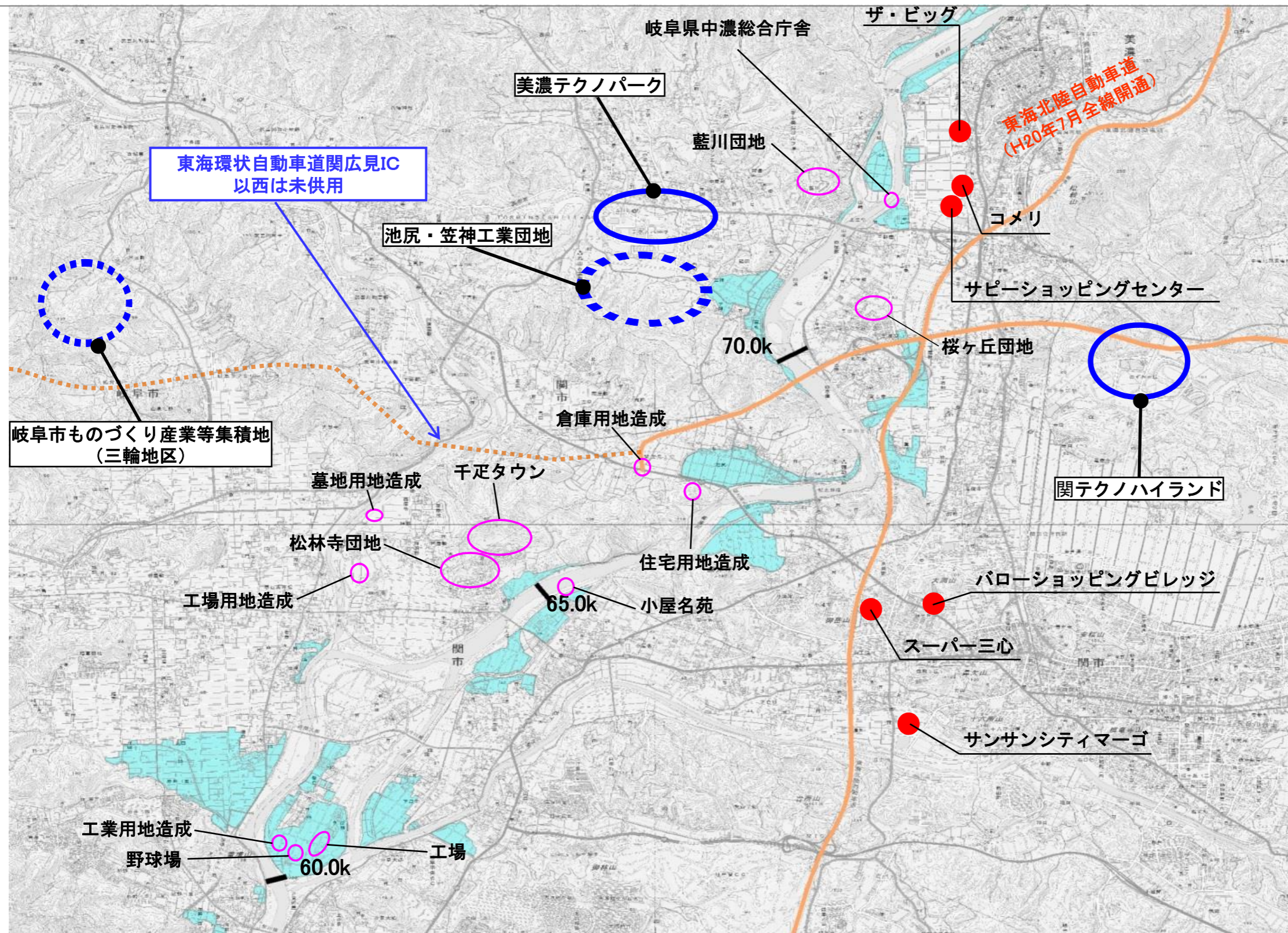


河川名	基準地点	目標流量	洪水調節施設による洪水調節量	河道整備流量（河道の整備で対応する流量）	備考
長良川	忠節	8,100m ³ /s	400m ³ /s	7,700m ³ /s	平成16年10月洪水対応

※木曾川水系流域委員会 資料において下記のとおり説明。
洪水調節：内ヶ谷ダム（H35年度完成予定）200m³/s 遊水地200m³/s

遊水地候補箇所周辺の状況

- 平成20年7月に東海北陸自動車道が全線開通するなど、中流部での開発が進むとともに、背後資産および人口についても近年増加傾向にある。
- 一方で、水害を軽減する自然遊水機能が減少している。



- 工業団地
- 工業団地 (計画)
- 大規模商業施設
- 宅地開発

- H16浸水区域

東海環状自動車道
(H17年3月一部供用開始)

※開発動向は
現時点での
進出状況(実績)

長良川遊水地に係る検討状況

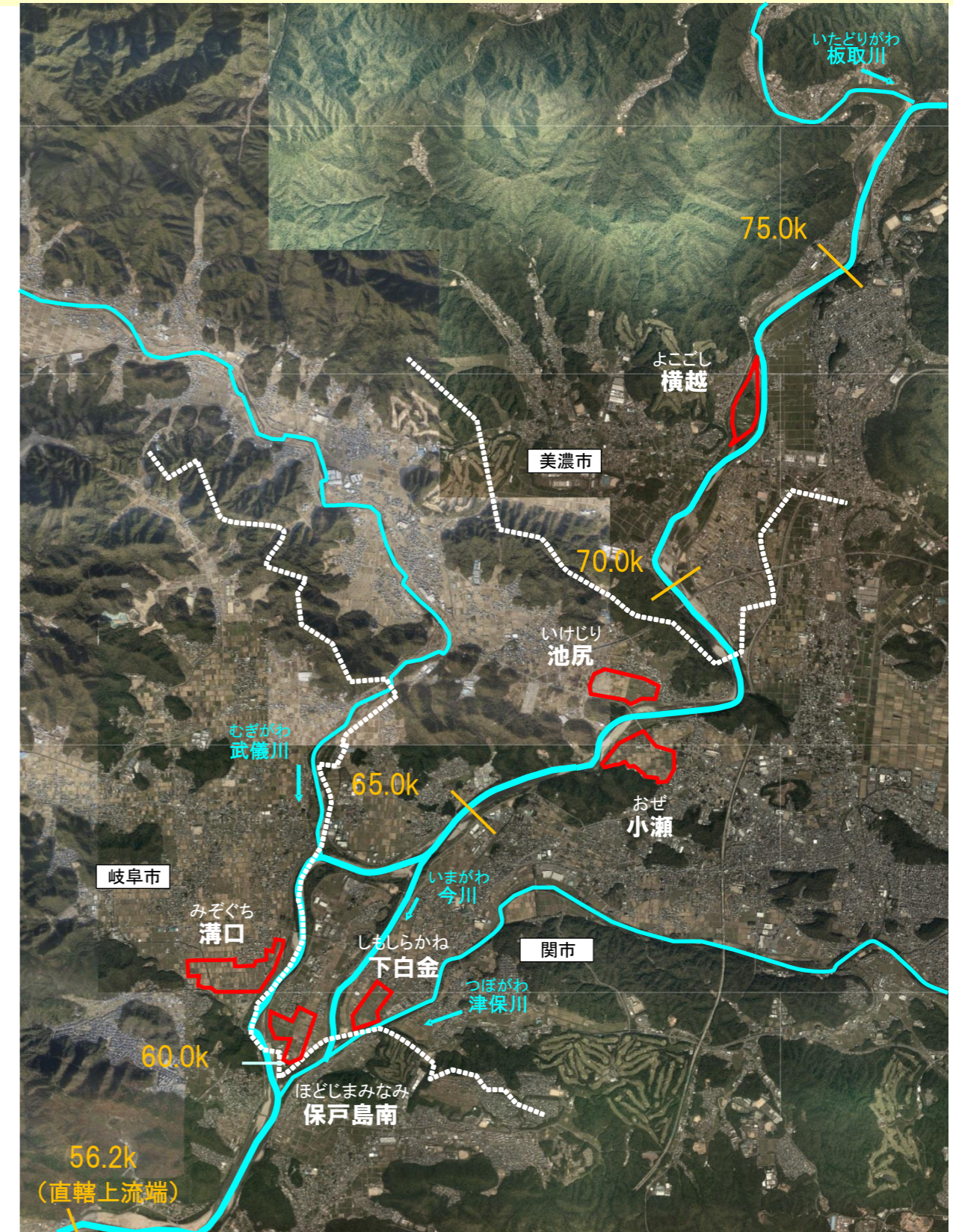
H16洪水時の浸水箇所と候補箇所の抽出

- 平成16年の台風23号では、直轄管理区間上流(岐阜県管理区間)で広範囲の浸水被害が発生。
- H16洪水の浸水面積、堤防開口部の有無、土地の利用状況等を踏まえ候補箇所を抽出。

平成16年10月洪水(指定区間)

被害状況(直轄管理区間上流端~板取川合流点)

浸水面積: 461ha
被災家屋: 床上浸水218戸
床下浸水142戸
半壊家屋 8戸

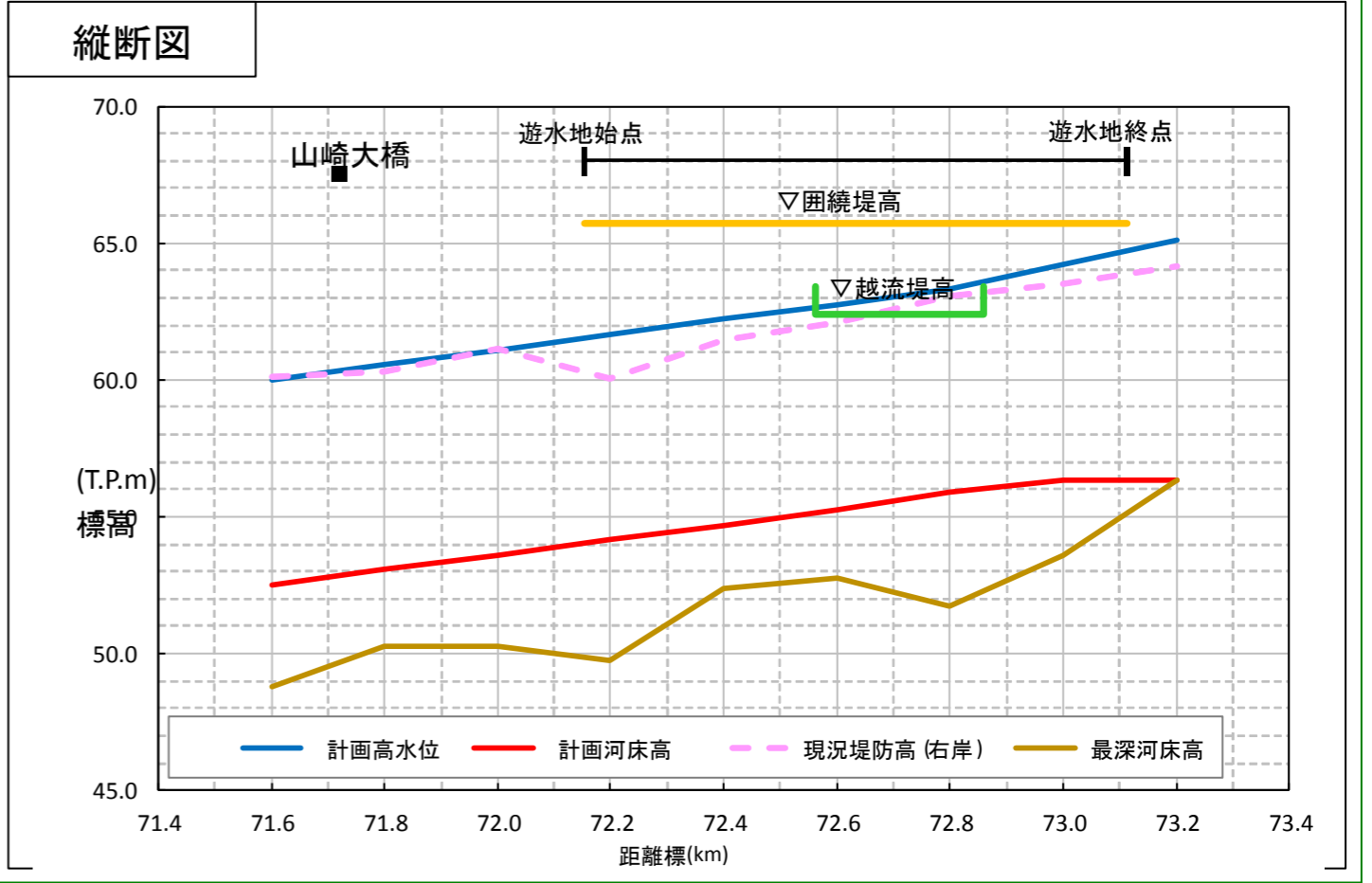
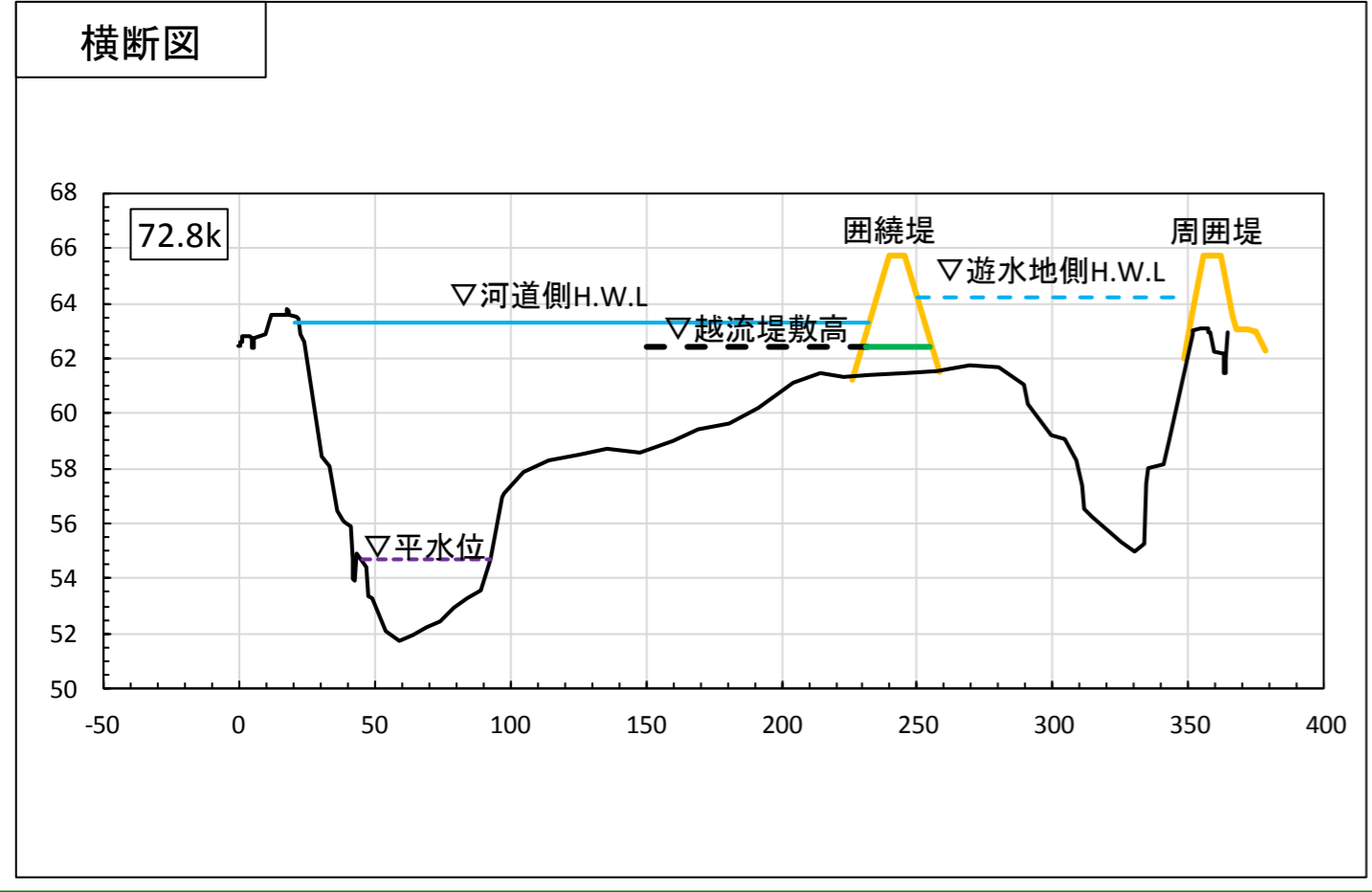
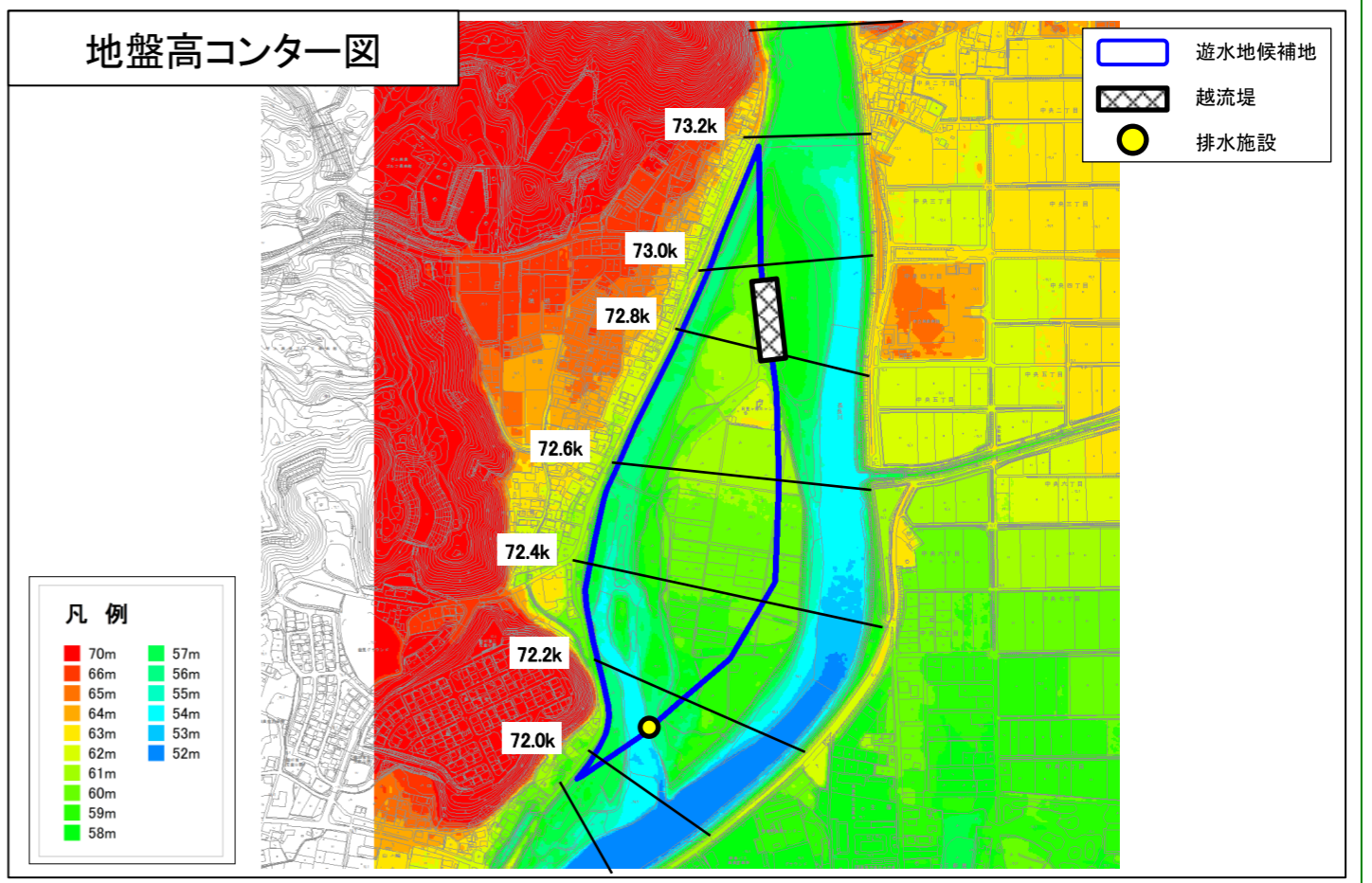
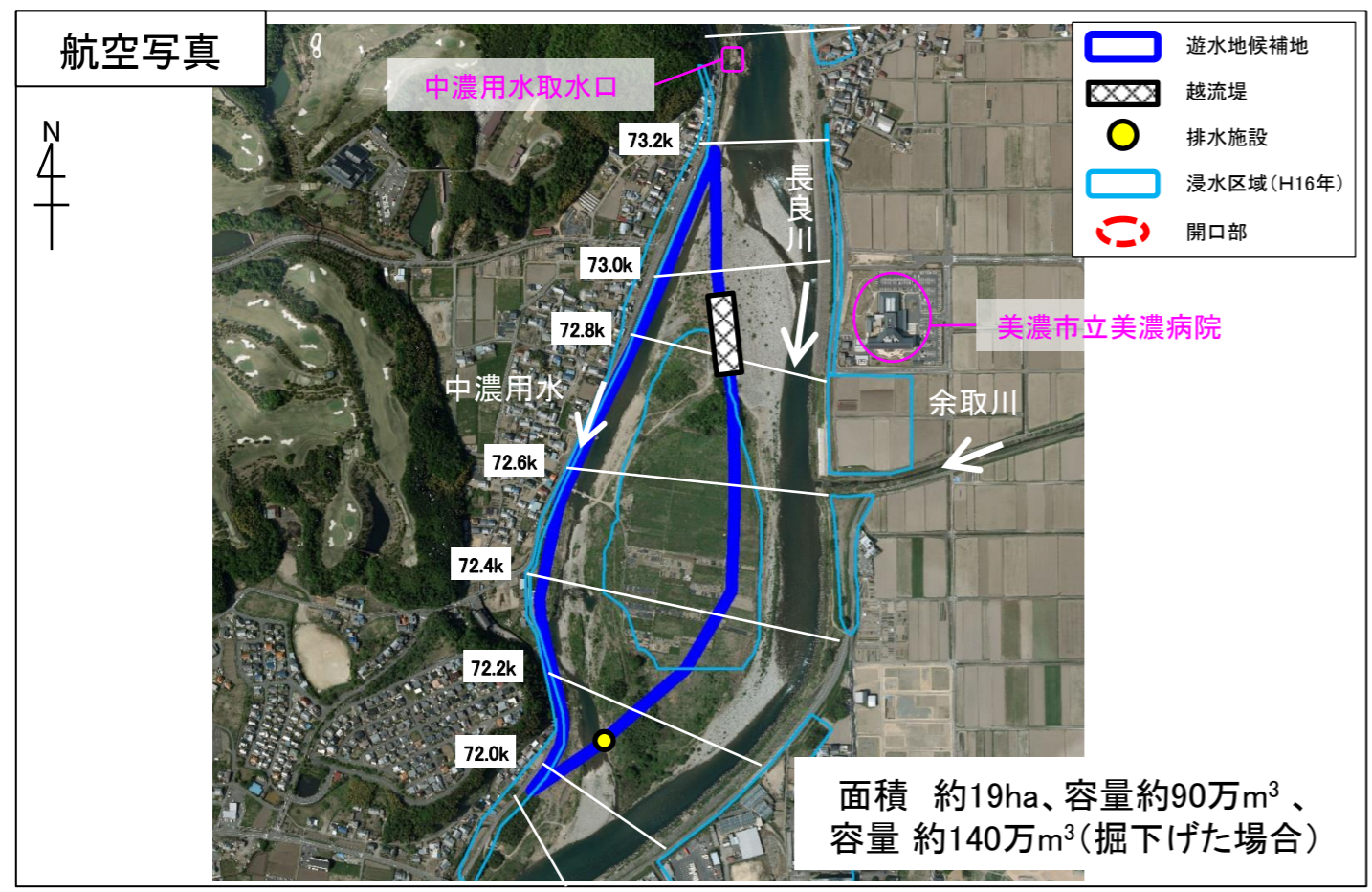


遊水地候補箇所図

※引用) ・岐阜県ホームページ(写真、被害状況)
・長良川 床上浸水対策特別緊急事業パンフレット(岐阜県)(被害状況)
・平成16年台風23号記録誌~その被害と復旧の記録~(岐阜県)

遊水地候補地の状況 (美濃市横越地区)

よこごし



【技術的特徴】

- 6箇所候補地のうち、最上流部に位置しており、効果の発現区間が長い。
- 河道内に位置しているため、流下能力を阻害しない縦横断形状の検討が必要。

【地元状況・土地利用に関する特徴】

- 河道内に位置し、全面が河川区域に指定されている。
- 堤外民地として営農活動が行われているが、比較的面積は小さい。
- 家屋や工場などは存在しない。
- 流下能力を阻害しないことについて、地元への丁寧な説明が必要。
- 河川区域内であり、用地補償、地役権設定に要する費用が比較的安価。

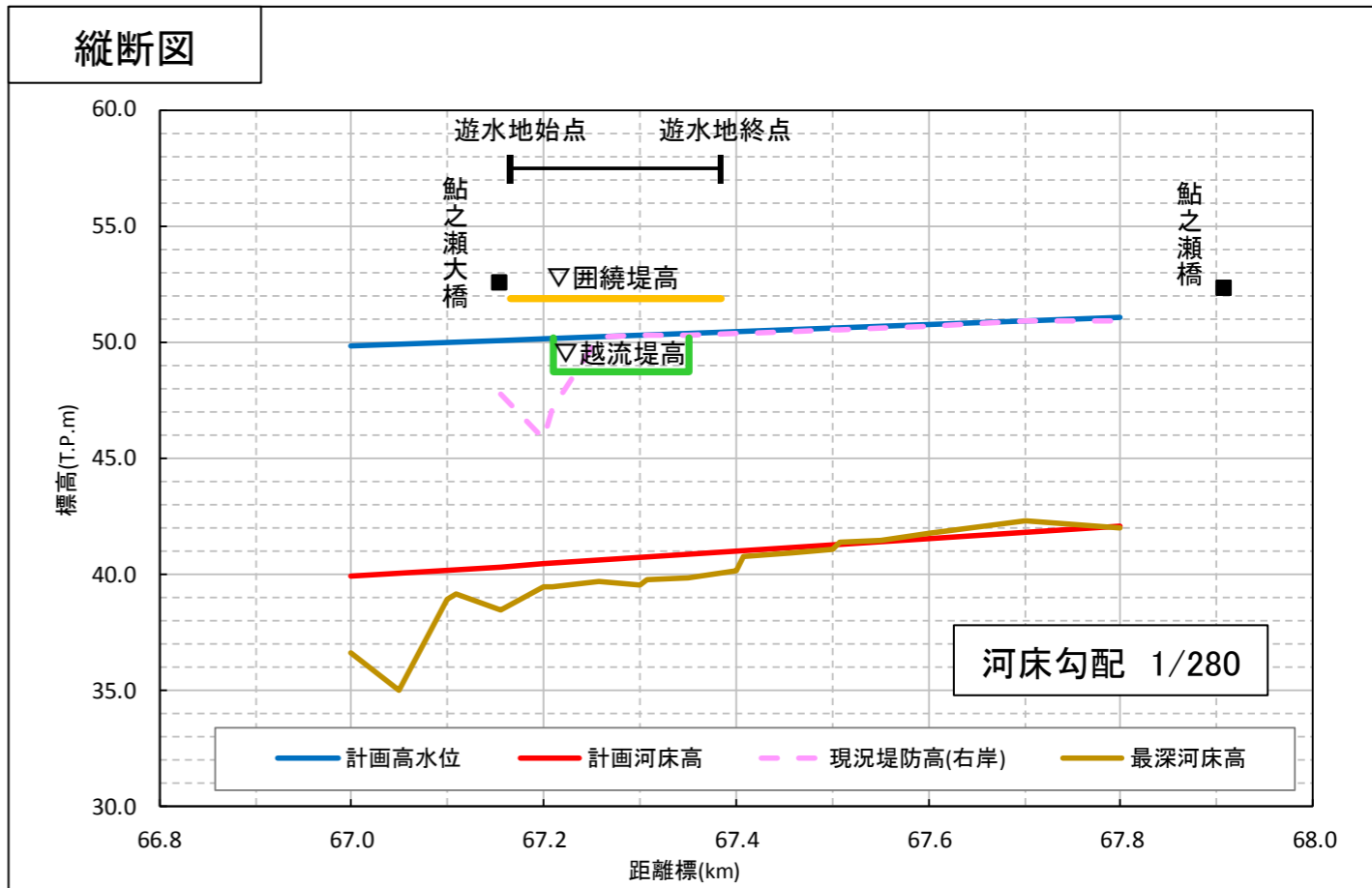
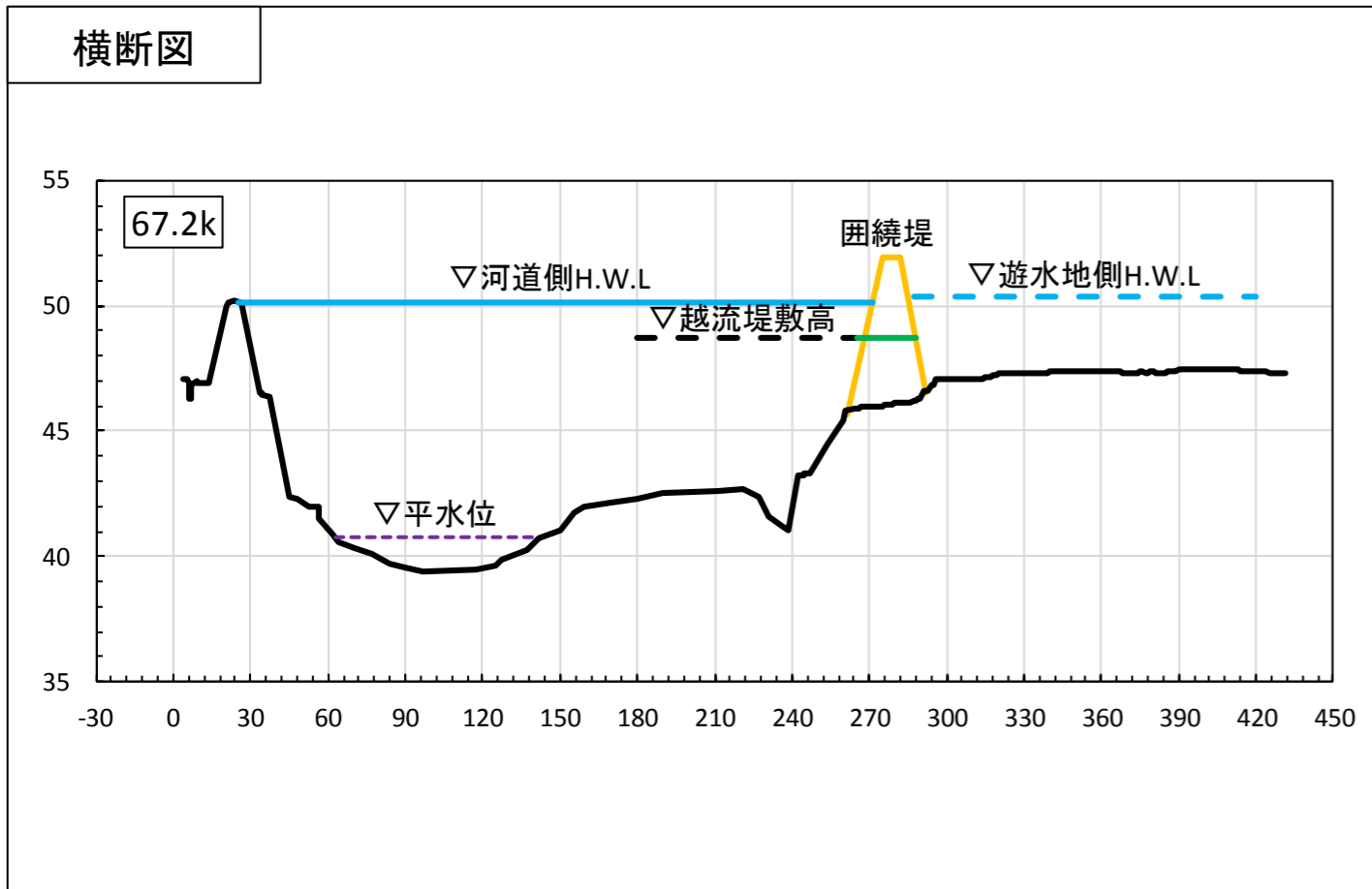
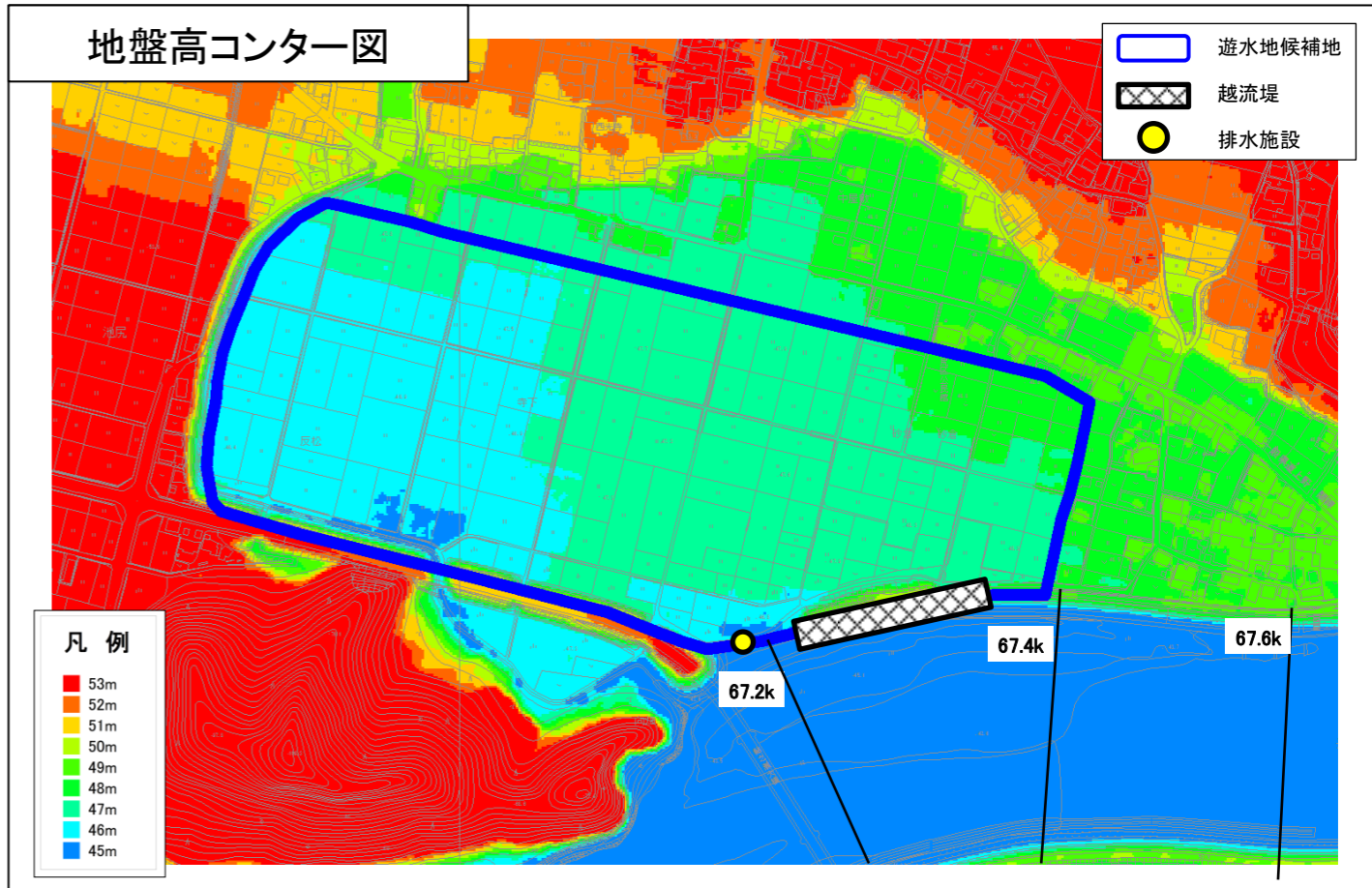
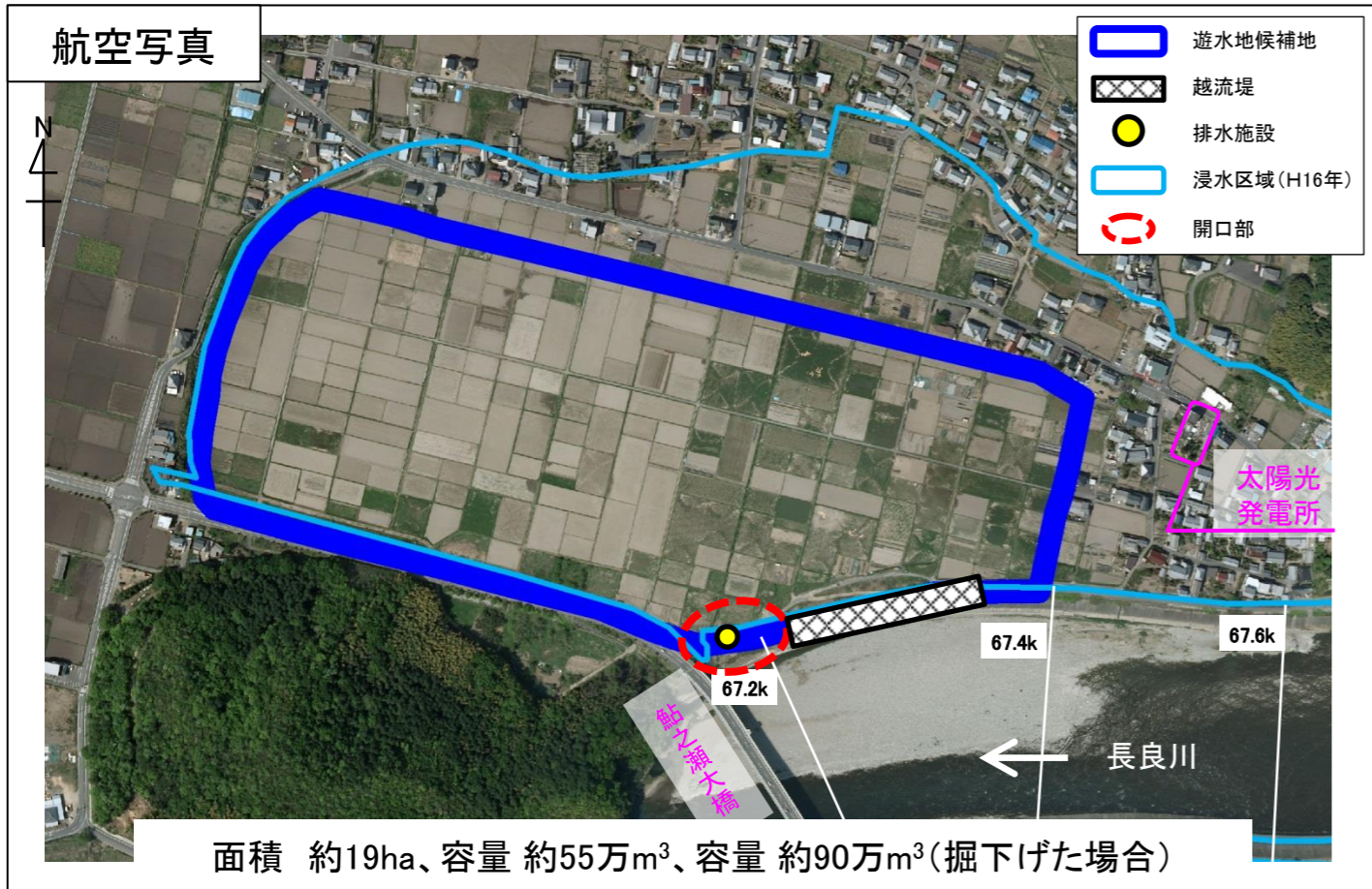
【その他の特徴】

- 美濃市内の候補地。
- 中濃用水の処理が必要。

第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項

- 河道部分は河原を残すなど、環境に配慮して現地形を活かした設計とすべき。

いけじり



【技術的特徴】

○開口部を締め切るため、下流の被害を増大させない工夫が必要。

【地元状況・土地利用に関する特徴】

○営農活動が盛ん。

○家屋や工場を避けて、比較的広い面積が確保可能。

○開口部を締め切ることにより、越流堤を超えないような中小規模の洪水に対して、当該地域の安全度は向上する。

【その他の特徴】

○関市内の4候補地のうちの1つ。

第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項

○対岸に小瀬地区の開口部があり、ここだけの締め切りは困難ではないか。

遊水地候補地の状況 (関市小瀬地区)

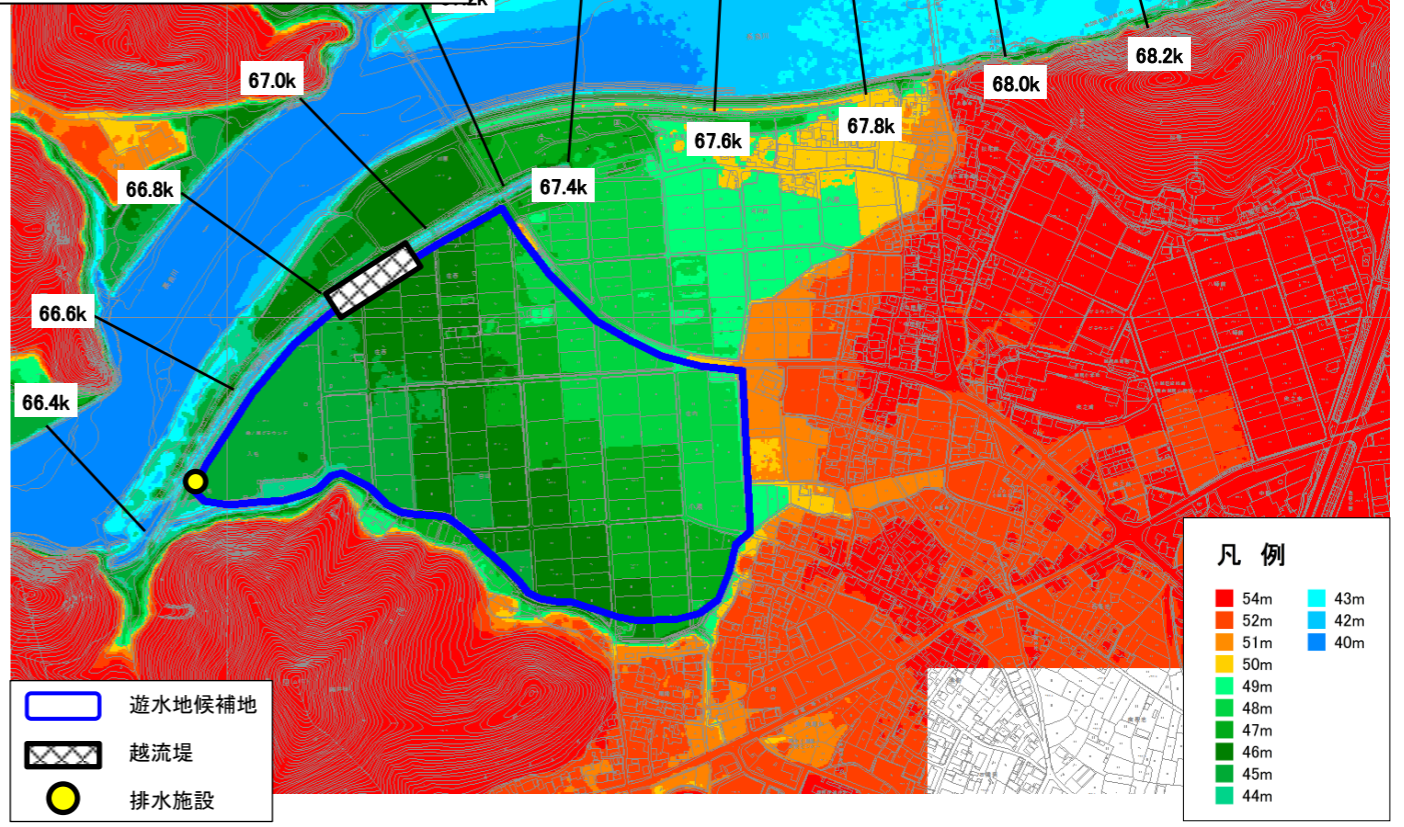
航空写真



- 遊水地候補地
- 越流堤
- 排水施設
- 浸水区域 (H16年)
- 開口部

面積 約26ha、容量 約70万 m^3 、容量 約90万 m^3 (掘下げた場合)

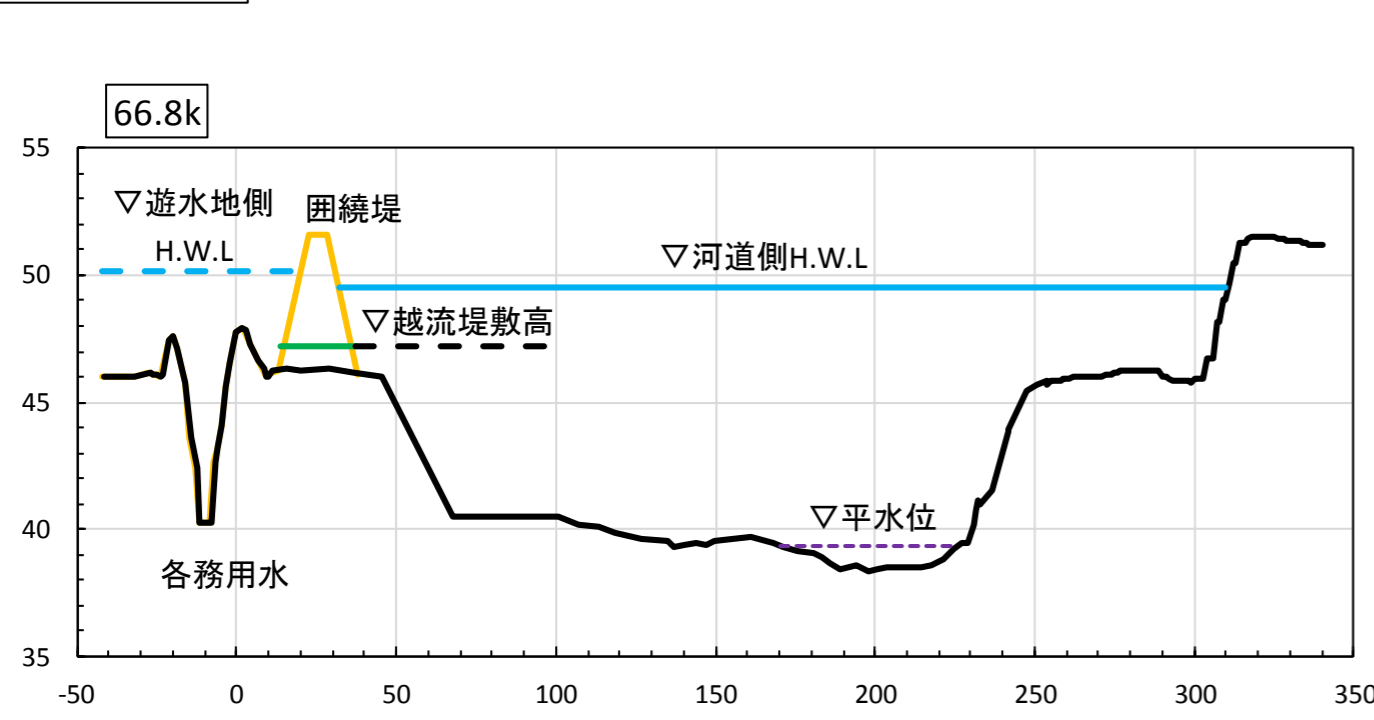
地盤高コンター図



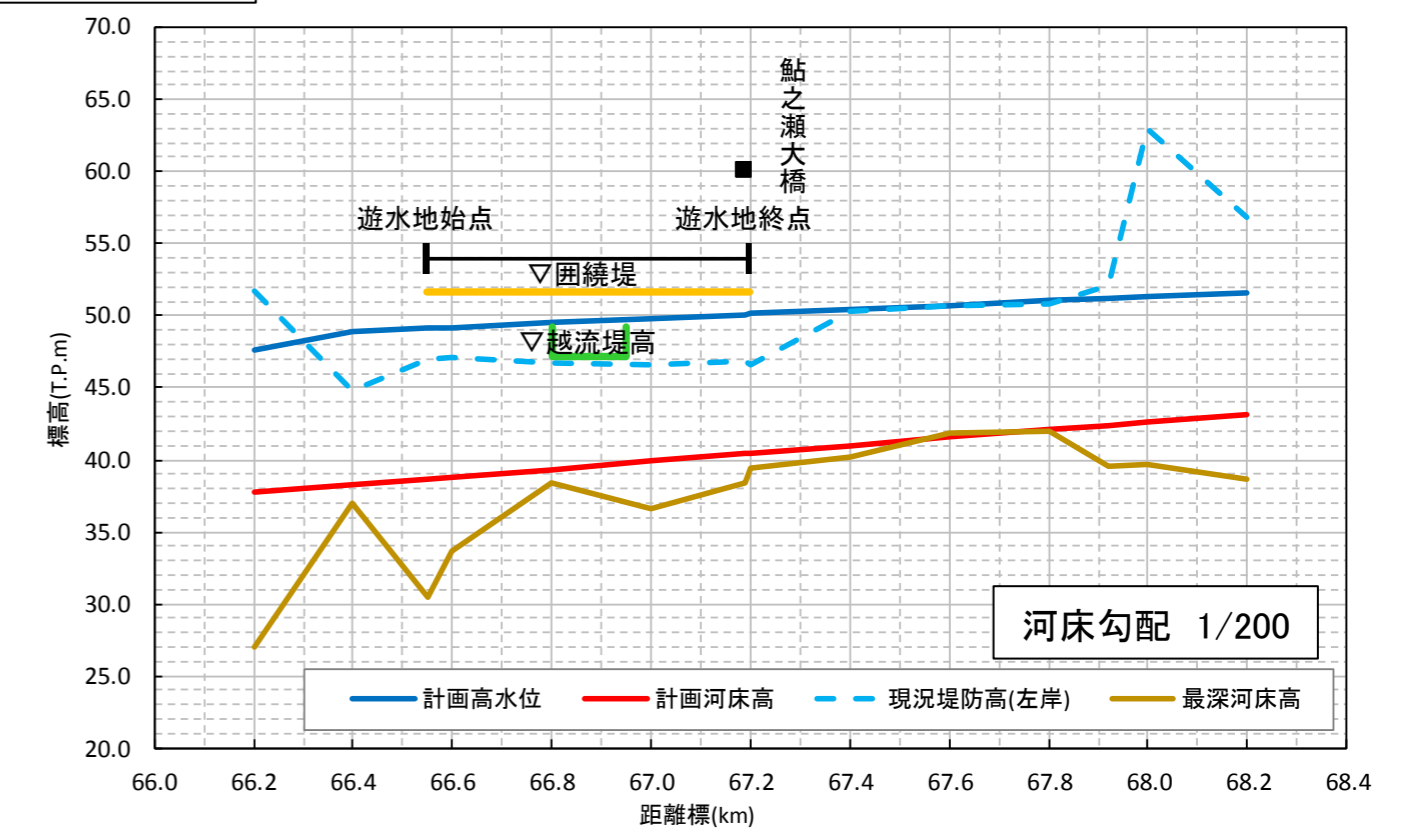
- 凡例
- | | |
|-----|-----|
| 54m | 43m |
| 52m | 42m |
| 51m | 40m |
| 50m | |
| 49m | |
| 48m | |
| 47m | |
| 46m | |
| 45m | |
| 44m | |

- 遊水地候補地
- 越流堤
- 排水施設

横断面図



縦断面図



【技術的特徴】

○開口部を締め切るため、下流の被害を増大させない工夫が必要。

【地元状況・土地利用に関する特徴】

○営農活動が盛ん。

○予定地内に工場が立地している。

○開口部を締め切ることにより、越流堤を超えないような中小規模の洪水に対して、当該地域の安全度は向上する。

【その他の特徴】

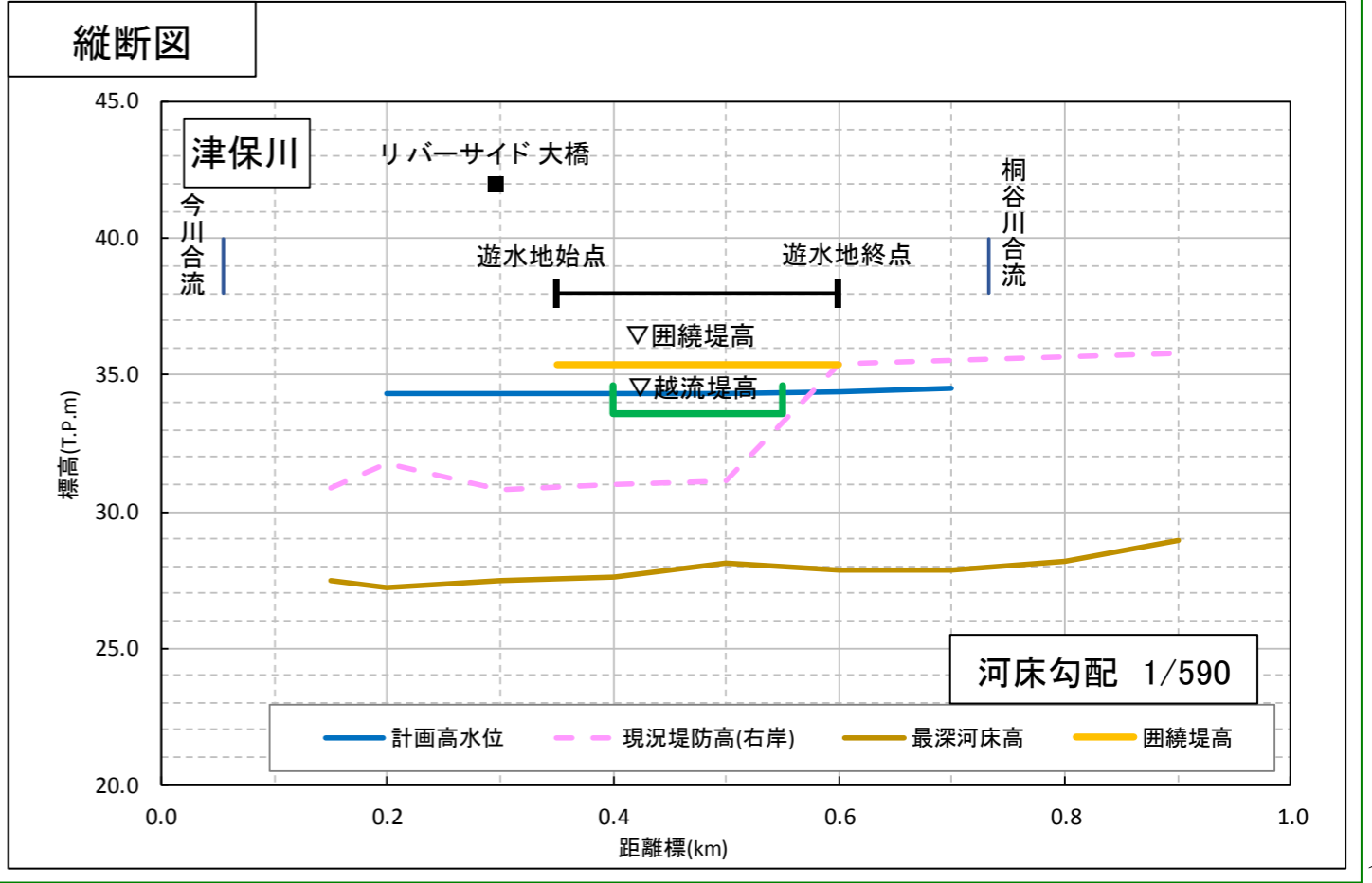
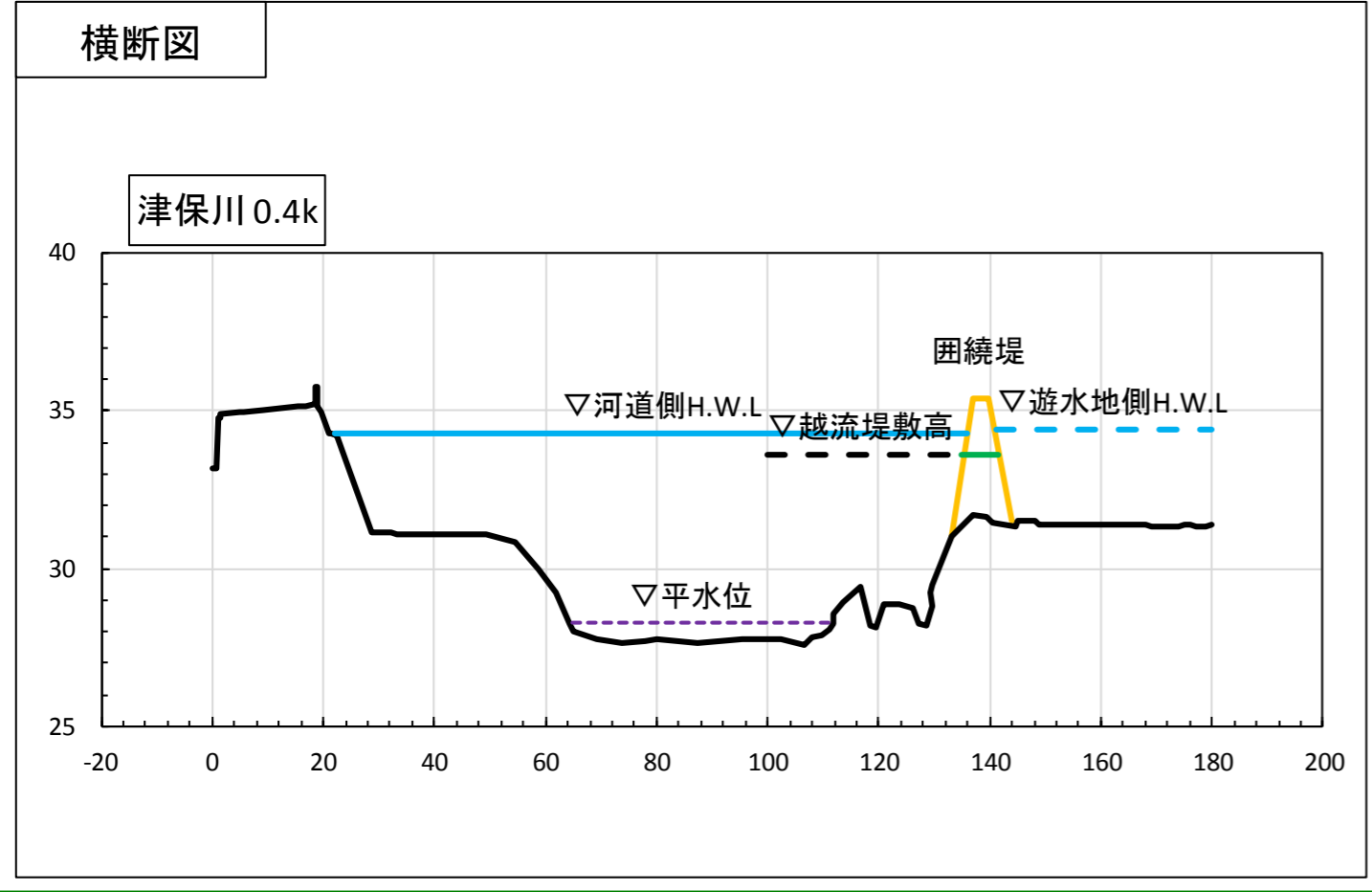
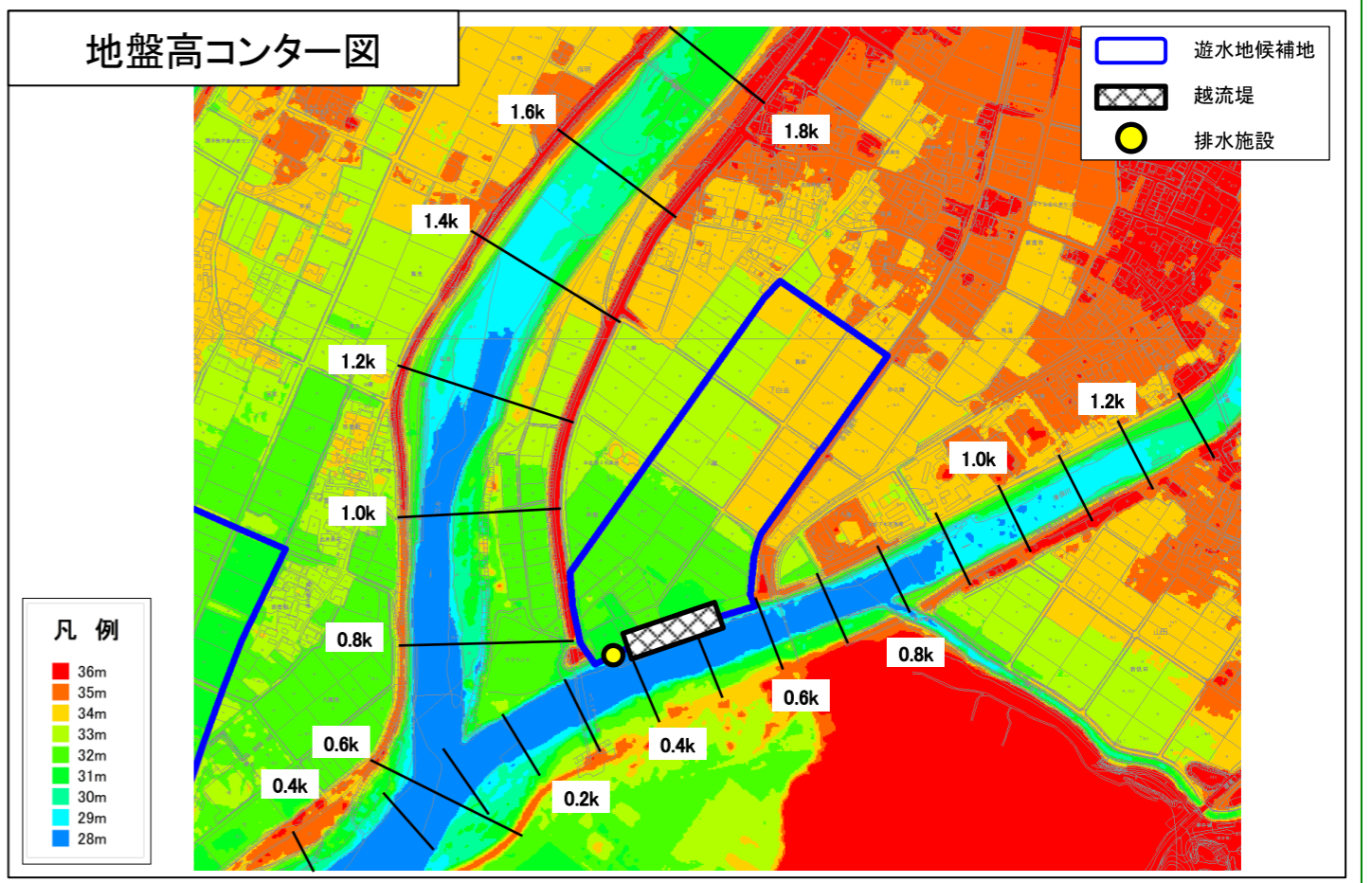
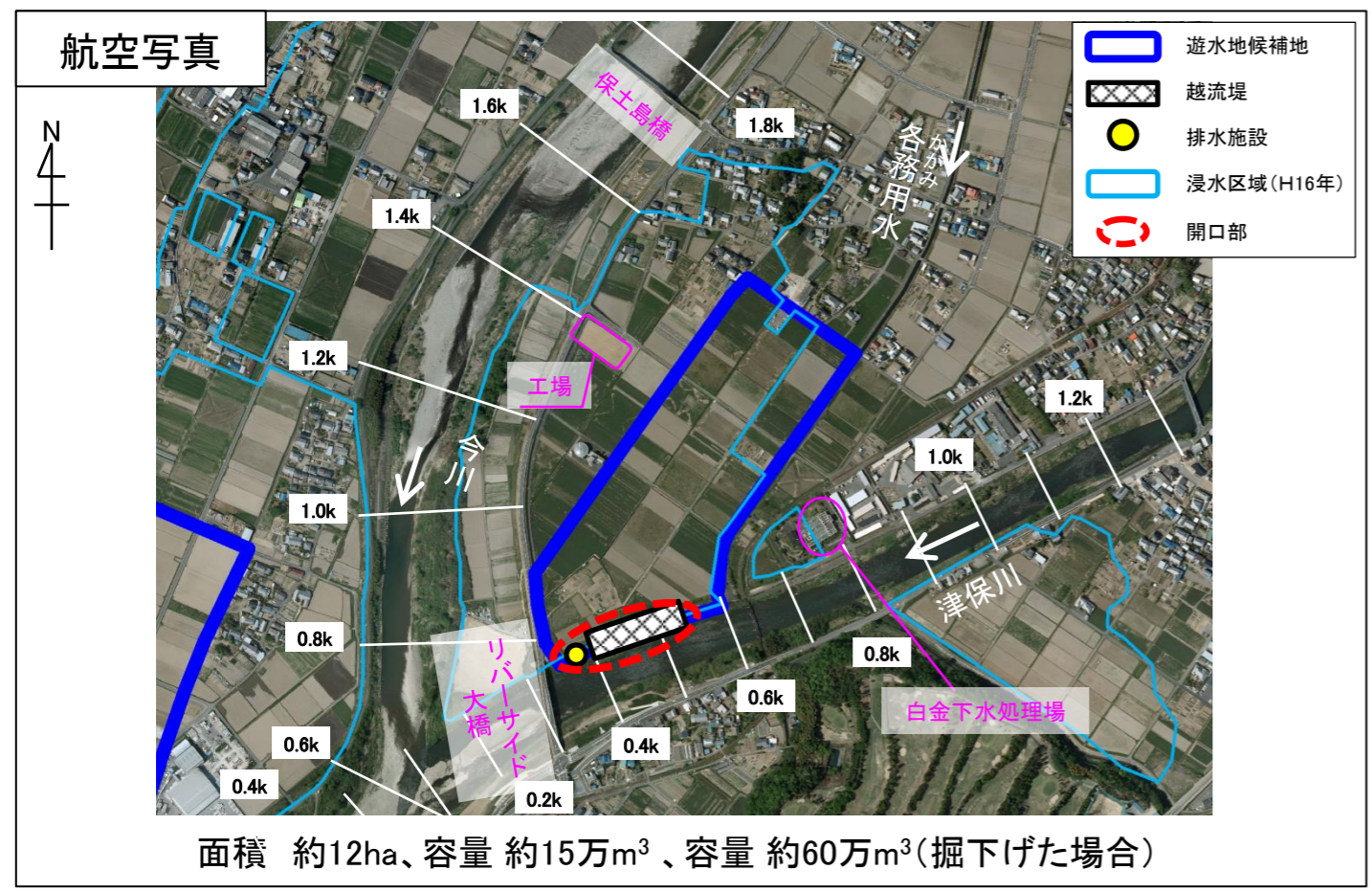
○関市内の4候補地のうちの1つ。

○各務用水の処理または各務用水を避けた設計が必要。

第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項

（○対岸に池尻地区の開口部があり、ここだけの締め切りは困難ではないか。）

遊水地候補地の状況 (関市下白金地区)



【技術的特徴】

- 開口部を締め切るため、下流の被害を増大させない工夫が必要。
- 支川の津保川からの越流となり、計画降雨以外の洪水に対する効果が不明瞭。

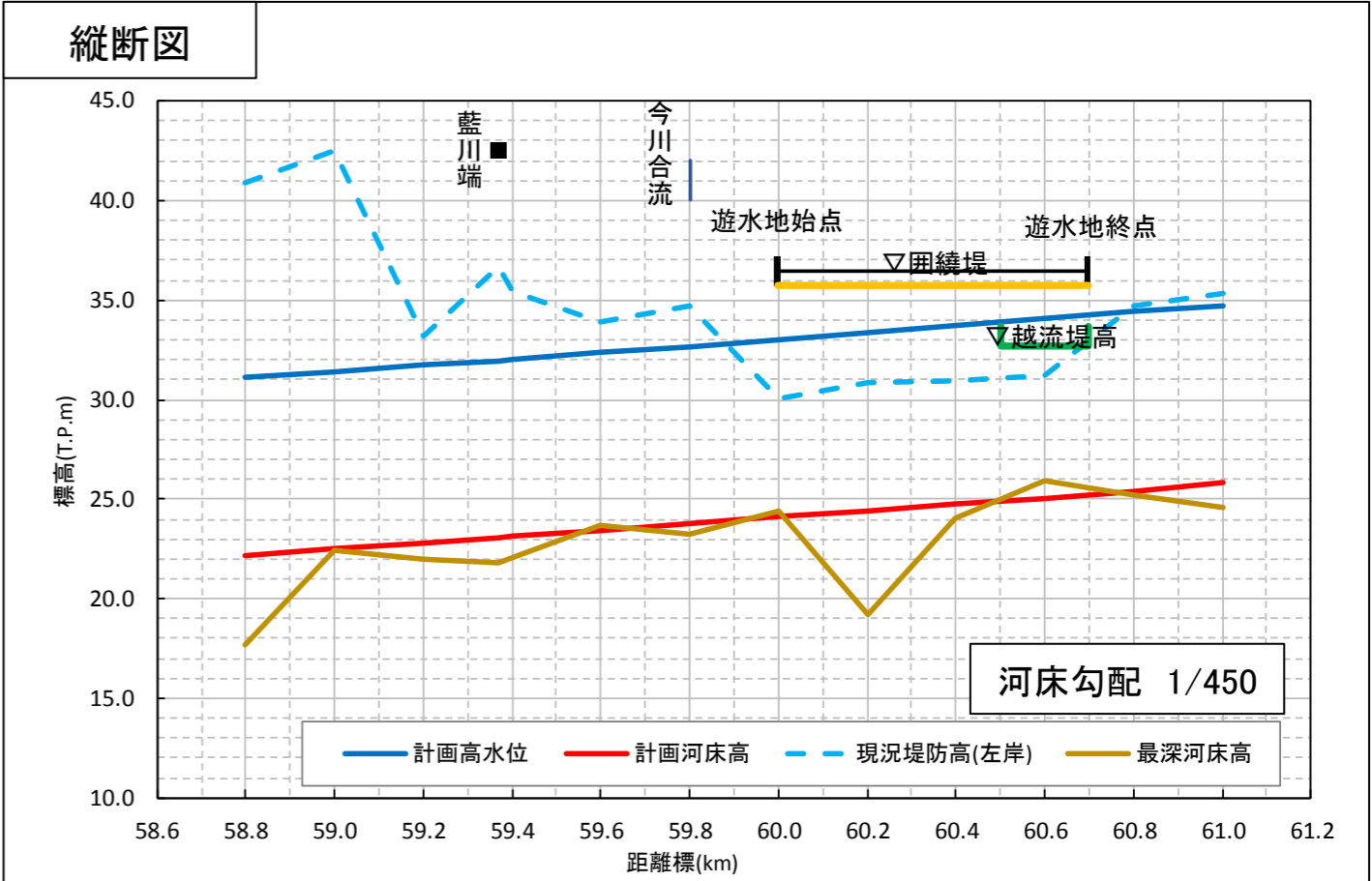
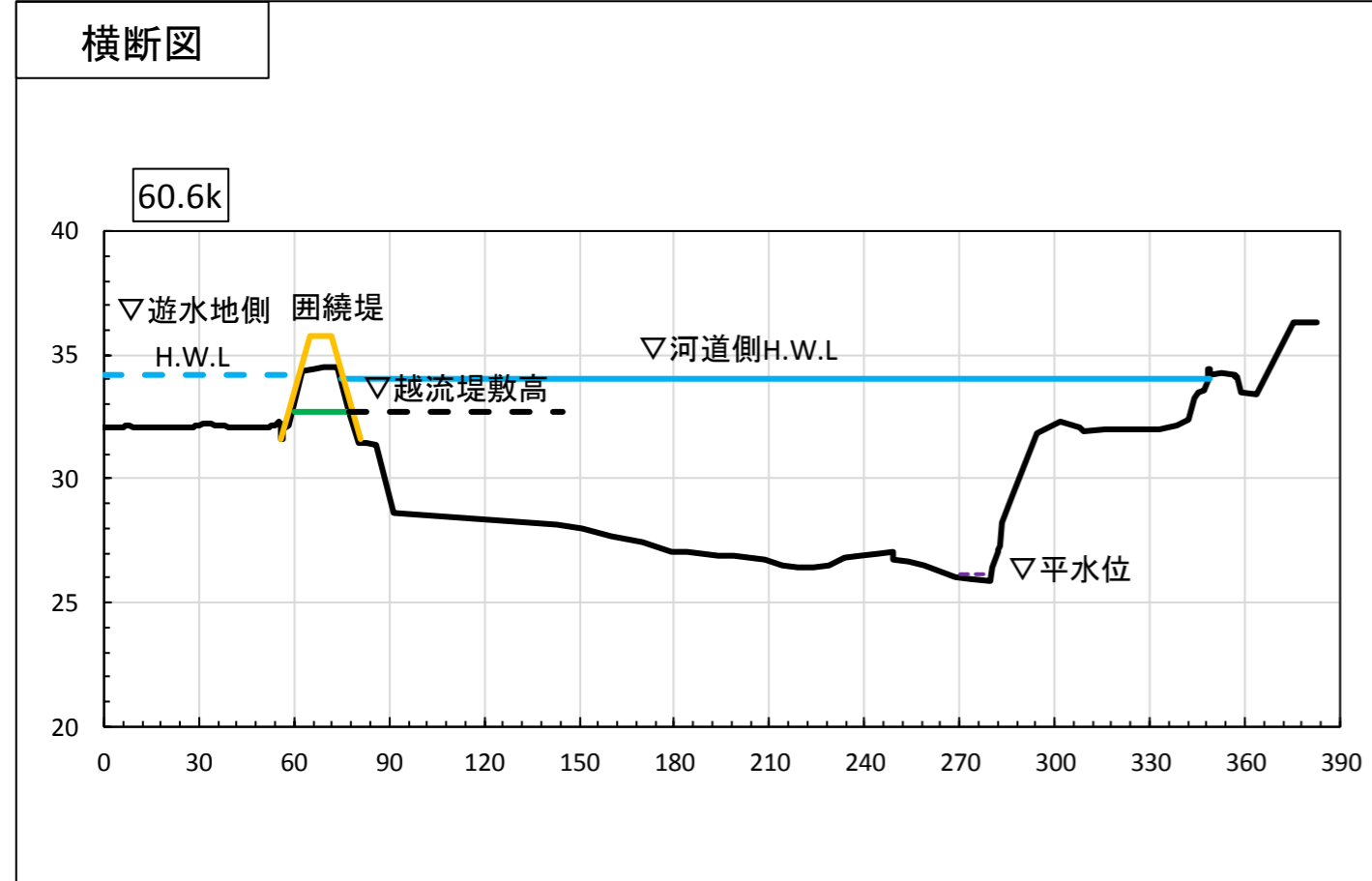
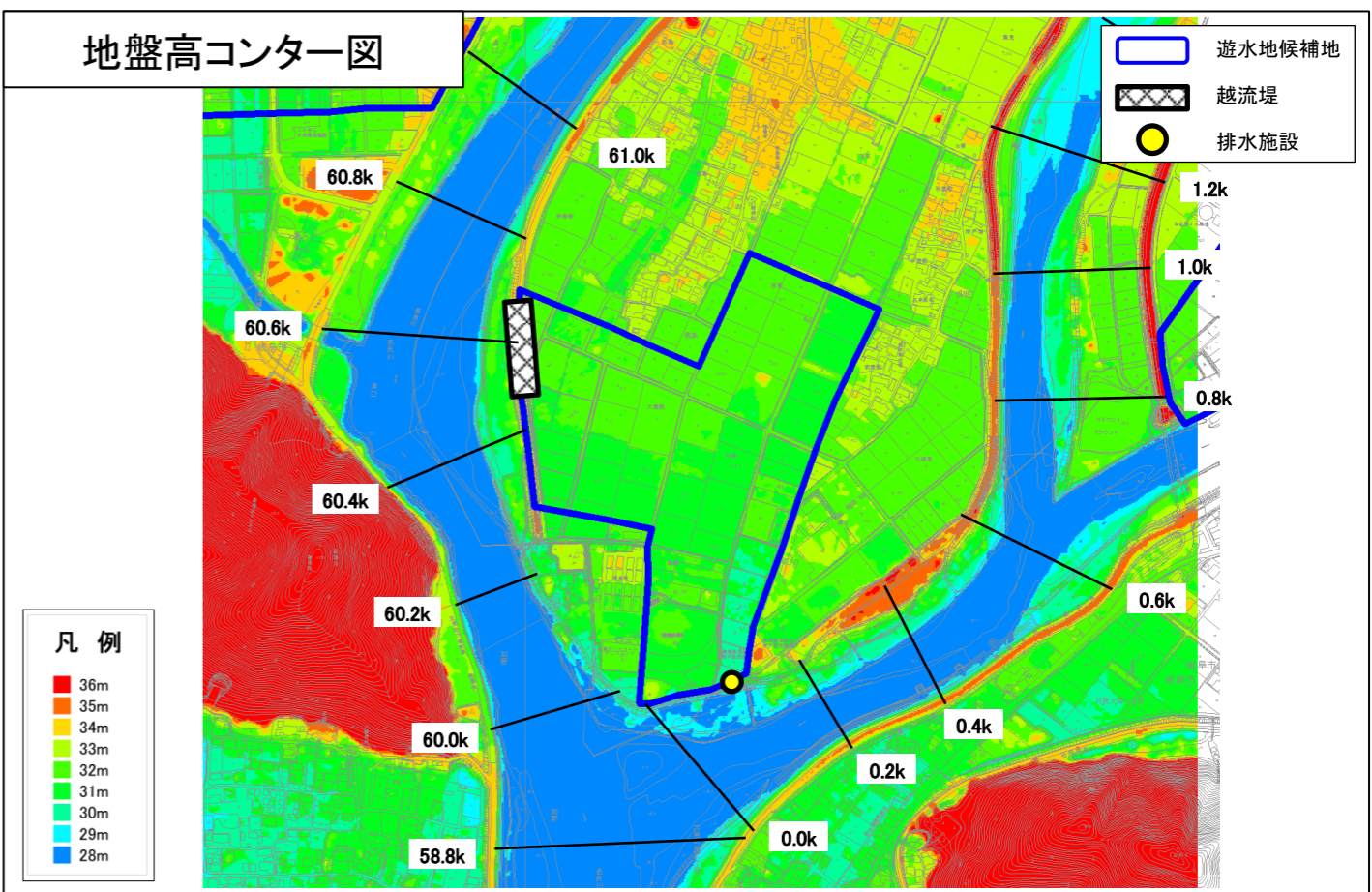
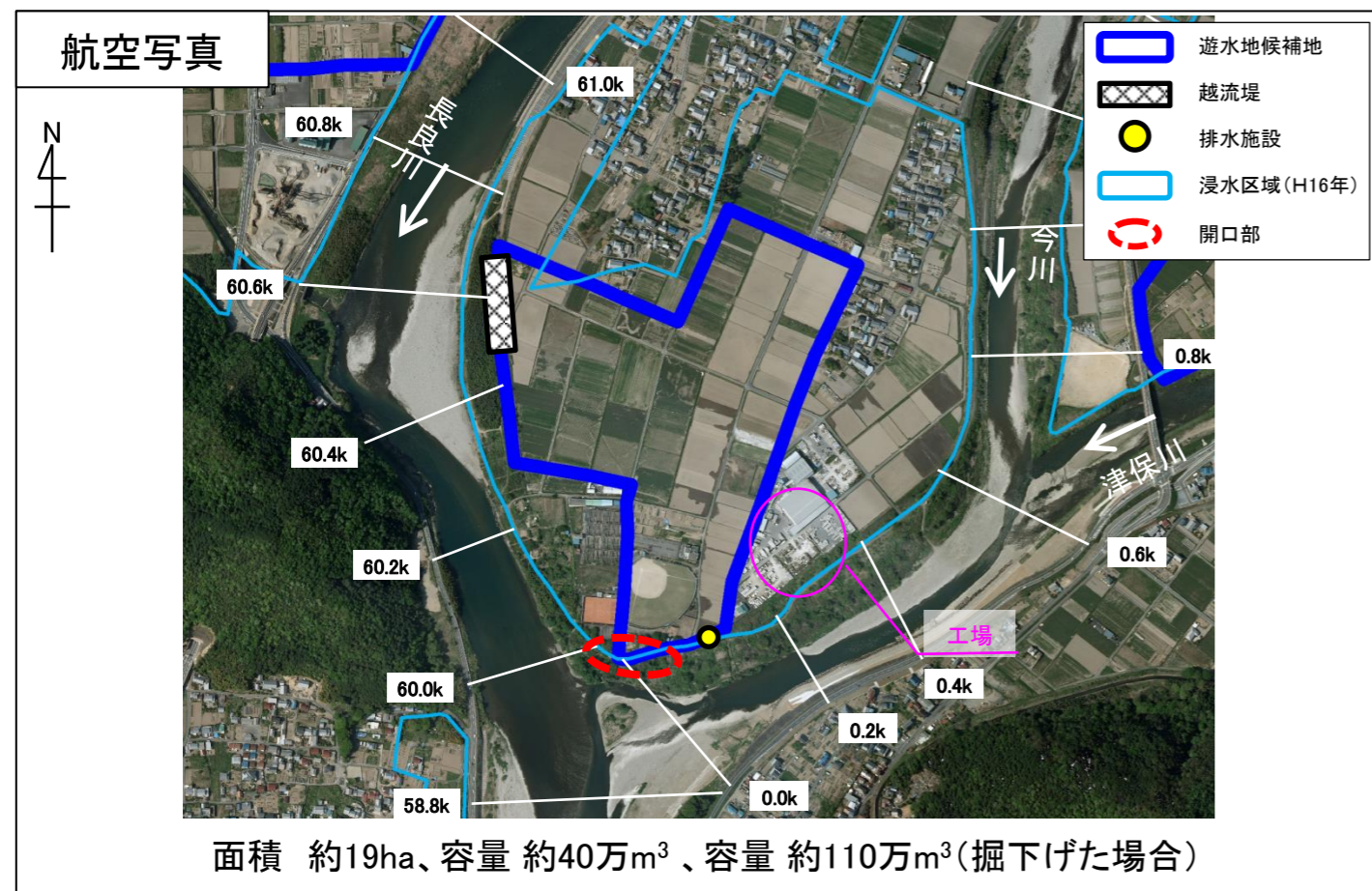
【地元状況・土地利用に関する特徴】

- 営農活動が盛ん。
- 確保できる面積が小さい。
- 開口部を締め切ることにより、越流堤を超えないような中小規模の洪水に対して、当該地域の安全度は向上する。

【その他の特徴】

- 関市内の4候補地のうちの1つ。
- 各務用水の処理または各務用水を避けた設計が必要。

第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項



【技術的特徴】

- 開口部を締め切るため、下流の被害を増大させない工夫が必要。
- 今川分派中の本川からの流入となるため、分派のコントロールが必要。

【地元状況・土地利用に関する特徴】

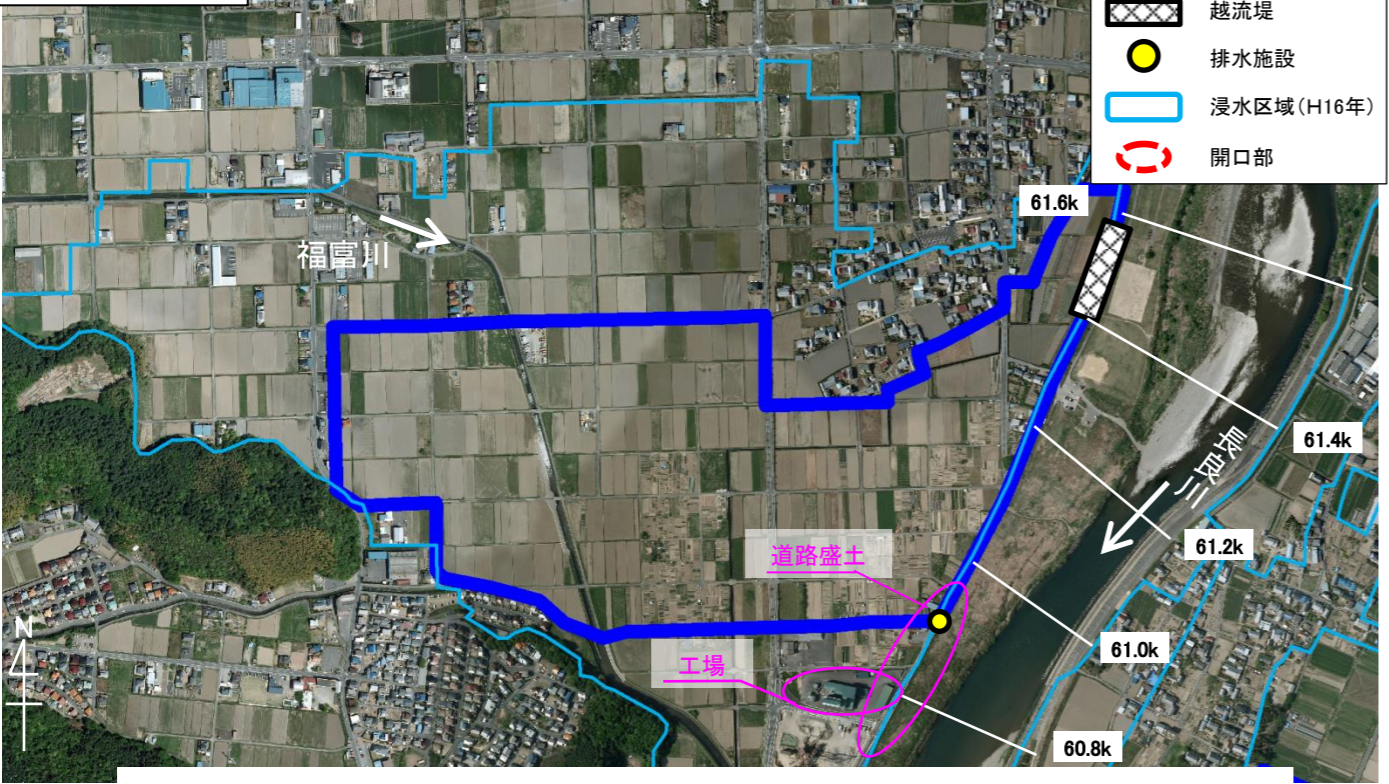
- 営農活動が盛ん。
- 開口部を締め切ることにより、越流堤を超えないような中小規模の洪水に対して、当該地域の安全度は向上する。

【その他の特徴】

- 関市内の4候補地のうちの1つ。
- 長良川本堤と周困堤の間に孤立地ができる。用地補償の場合、コストが高くなる。

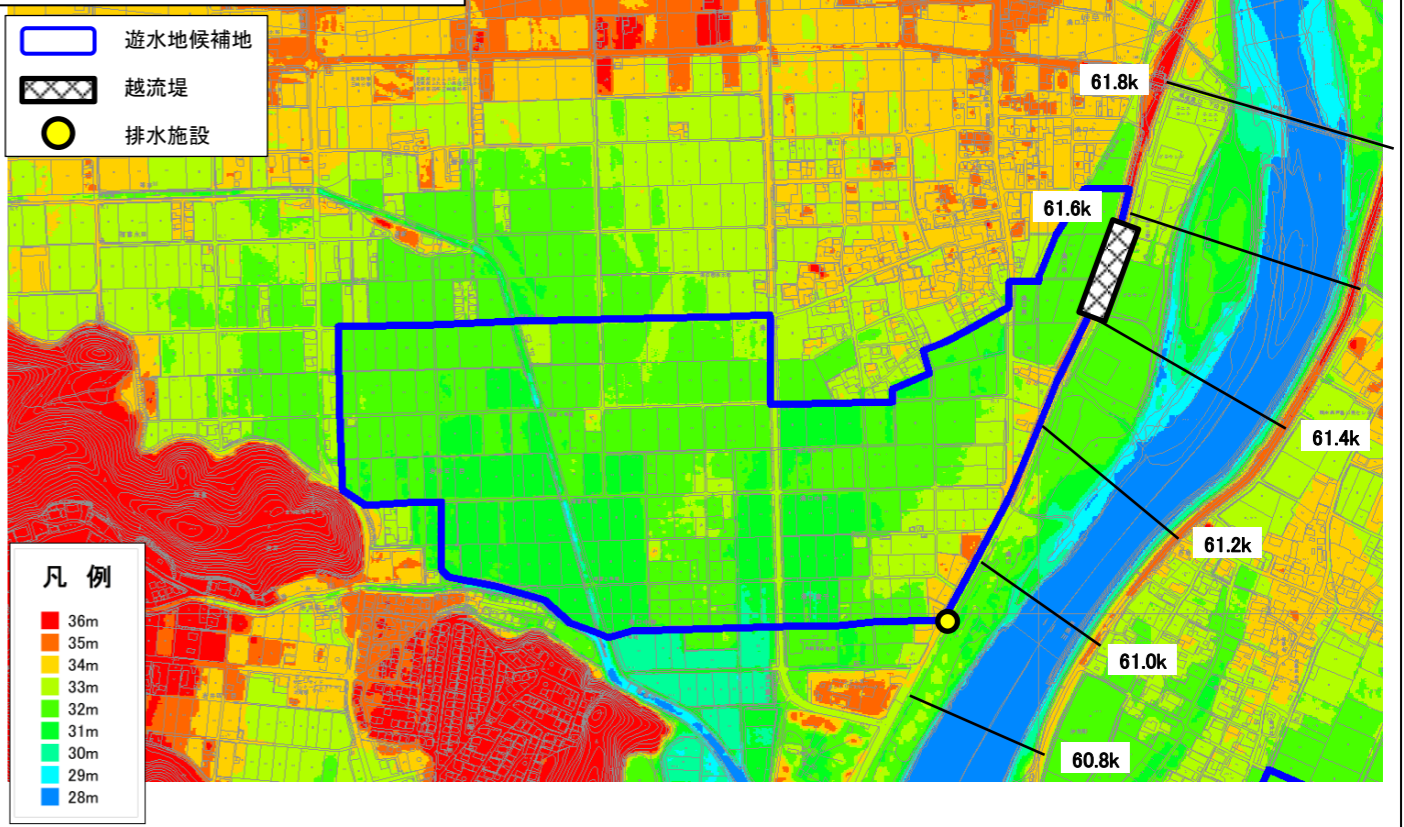
第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項

航空写真

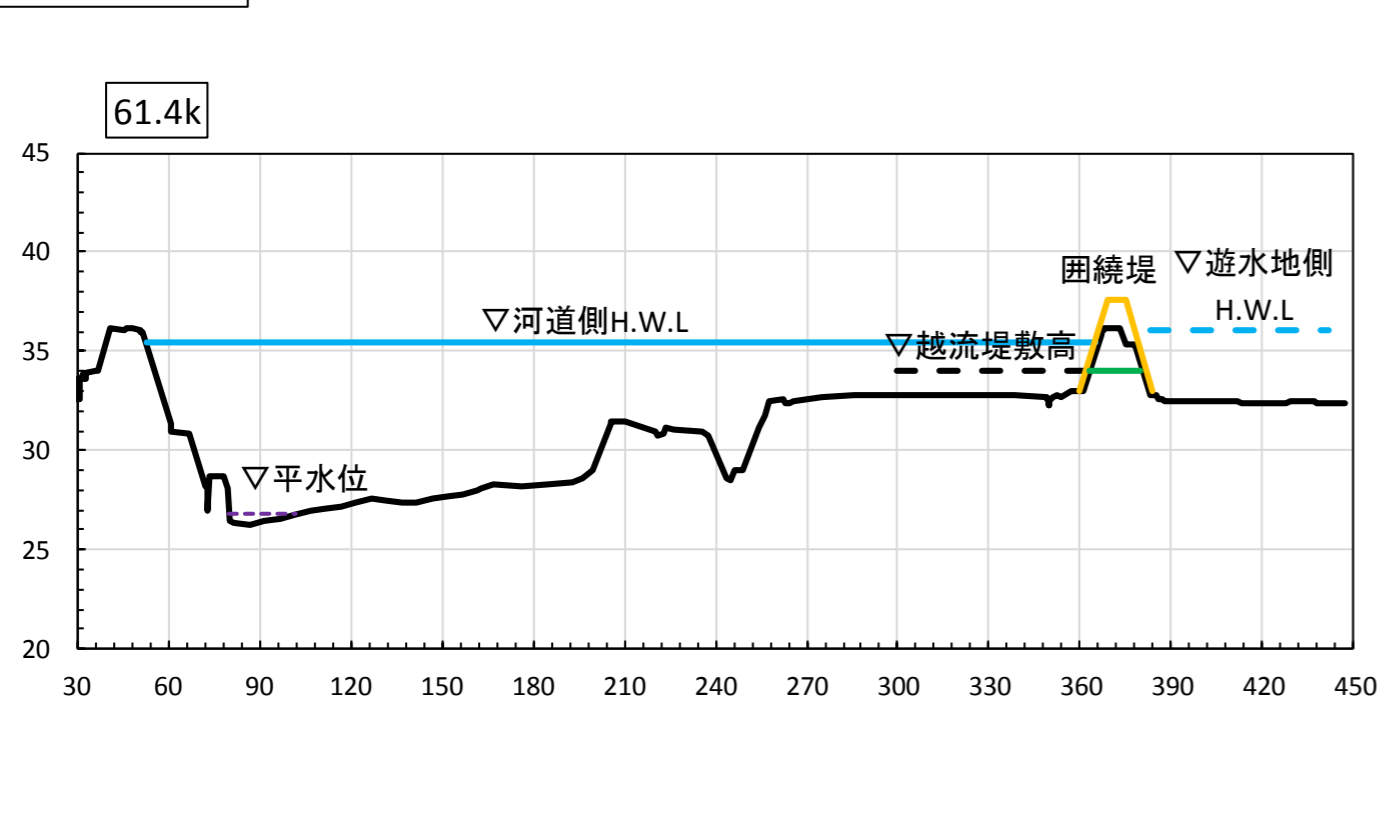


面積 約40ha、容量 約85万m³、容量 約160万m³(掘下げた場合)

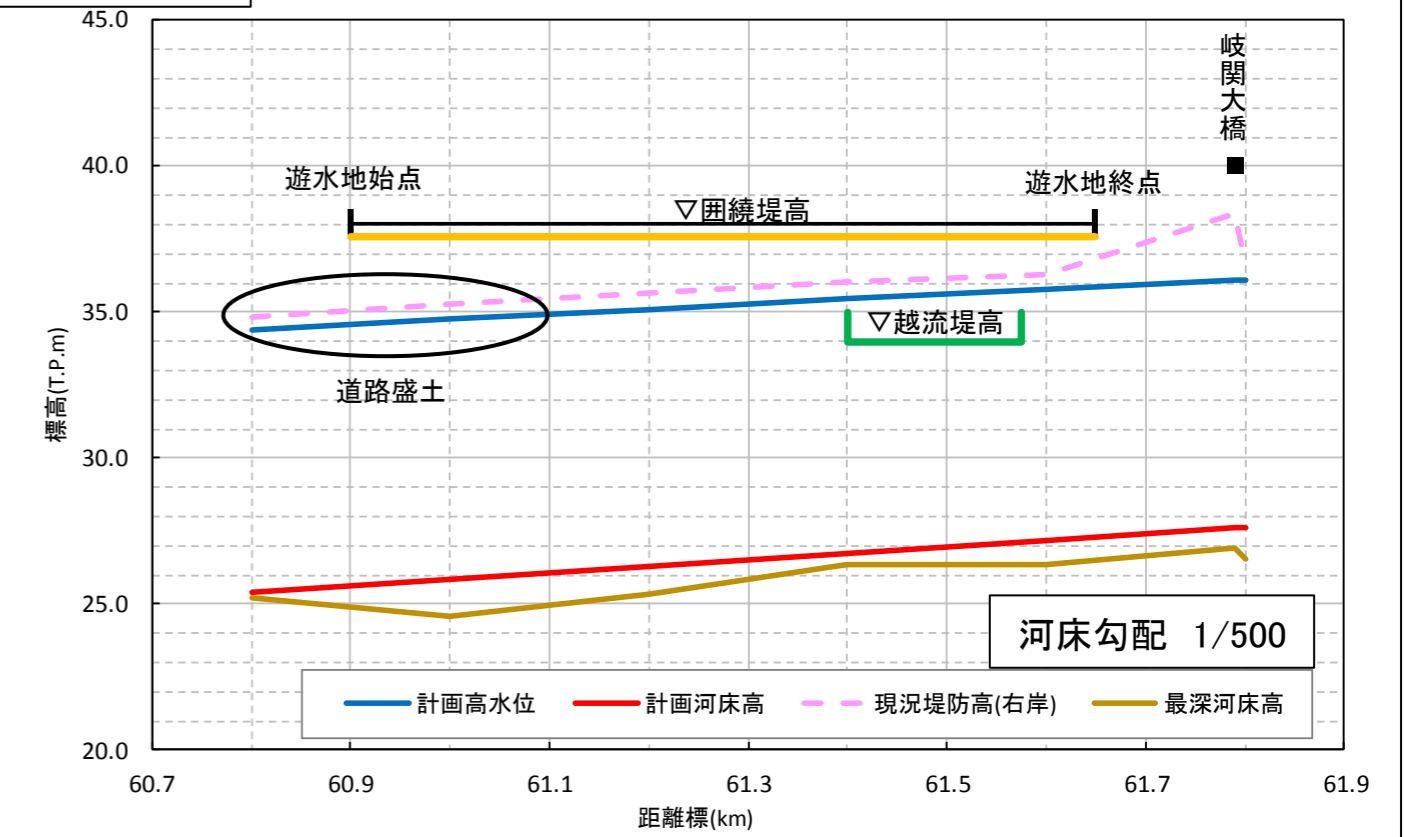
地盤高コンター図



横断面図



縦断面図



【技術的特徴】

○今川分派中の本川からの流入となるため、分派のコントロールが必要。

【地元状況・土地利用に関する特徴】

○営農活動が盛ん。

○（計画上堤防として扱うことはできないが）道路盛土によって計画高水位まで敷高が確保されており、越流堤部の敷高を下げることについて地元の理解が必要。

【その他の特徴】

○岐阜市内の候補地。

○福富川の処理または福富川を避けた設計が必要。

第2回流域委員会等における主なご意見・指摘事項

○福富川の扱いをよく検討すること。

候補地の特徴の整理

	美濃市 横越	関市 池尻	関市 小瀬	関市 下白金	関市 保土島南	岐阜市 溝口
技術的 特徴	○最上流部 ○河道内	○開口部締切り	○開口部締切り	○開口部締切り ○津保川からの 越流	○開口部締切り ○今川との分派 中の越流	○開口部締切りだ が、道路盛土あり ○今川との分派中 の越流
地元状況 土地利用 に関する 特徴	○全面河川区域 ○営農面積小 ○家屋・工場なし ○流下能力を阻害 しない説明が必要 ○用地・地役権が 安価	○営農活動が盛 ん ○地元の安全度 は向上	○営農活動が盛 ん ○工場が立地 ○地元の安全度 は向上	○営農活動が盛 ん ○地元の安全度 は向上	○営農活動が盛 ん ○地元の安全度 は向上	○営農活動が盛 ん ○道路盛土より敷 高を下げることの 地元理解が必要
その他の 特徴	○美濃市 ○中濃用水の処 理が必要	○関市	○関市 ○各務用水の処 理が必要	○関市 ○各務用水の処 理が必要	○関市 ○長良川本堤と 周困堤の間に孤 立地が発生	○岐阜市 ○福富川の処理 が必要
委員指摘 事項	○河道内であり、 環境に配慮し現地 形を極力いかすこ と	○対岸に小瀬	○対岸に池尻			○福富川の扱いを よく検討すること